

平成29年9月21日

報道機関各位

勝山市立荒土小学校
校長 道関 直哉

ジオパーク市民として

河岸段丘を生かした景観保全活動に小中学生が連携して取り組みます

勝山市立荒土小学校は、ふるさと教育を推進しています。この一環として、勝山市の特徴的な地形である河岸段丘を生かした景観保全活動に取り組みます。

荒土地区では、芝桜によって学校近辺の河岸段丘を生かした景観保全活動を進めてきました。この活動を「美しい段丘の上に立つ学校の景観保全活動」ととらえ、小中学生が連携して協力することにより、ふるさとに愛着と誇りを持つ機会とすることにしました。

今回の活動では、芝桜を覆う雑草の駆除と共に勝山市の河岸段丘は七里壁として広く知られてきたことを学習します。

ふるさと教育の新たな取組として、ぜひご紹介いただきますようお願いいたします。

記

- 1 日 時 平成29年9月26日(火) 13:40～15:00
- 2 場 所 荒土小学校 グラウンド西側法面(伊波地区)
- 3 参加者 荒土小学校6年生 11名
勝山北部中学校2年生 15名
- 4 内 容 13:40 活動場所集合 挨拶
13:45 勝山の特徴的な地形の説明(市ジオパーク課職員)
13:50 雑草の駆除作業
14:40 活動終了・後始末

※この活動は、勝山北部中学校(北中まちづくりプロジェクト)と校区内3小学校(鹿谷, 北郷, 荒土小学校)の小中連携による環境保全事業として実施します。

担当者: 山口・前野(教頭)

電話: 0779-89-2002

メール: aradosyo@edu.city.katsuyama.fukui.jp

紹介: <http://arasyo892002.mitelog.jp/>
